

経営資源の最適配分

人財の活性化：プロフェッショナル集団による効率的運営

教育、モチベーション向上

- 社員一人一人のコスト意識の向上
 - 日々の生産計画と生産実績の把握
→ 達成感と向上心を植え付ける
- 一人当たり付加価値の向上
- 社外研修会、講習会等の活用
～ OffJT (Off the Job Training) の推進

中期経営戦略の骨子

経営資源の最適配分

- 人財の活性化
- 技術開発力の強化
- キャッシュの創出

既存事業の収益安定化

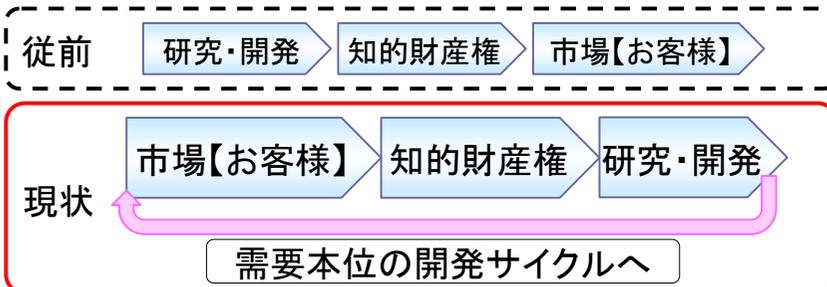
- 良品率の向上
- 原価の更なる低減
- 設備稼働率の向上
- 生産技術の革新

新規事業の成長

- 太陽光発電の事業化
- 偏光子事業の黒字化
- デジタルシネマの拡販
- 新規事業の探索・育成

経営資源の最適配分

技術開発力の強化：市場ニーズからの出発



シーズ・オリエンテッド から ニーズ・オリエンテッドへ
(開発志向 から 市場志向へ)

Web 2.0 の活用により『お客様に用途を考えてもらう』

ガラス材料 <http://oglass.myspace1.nazca.co.jp/>

薄膜 <http://glass.myspace1.nazca.co.jp/>

経営資源の最適配分

人財の活性化：プロフェッショナル集団による効率的運営

人員推移

- 総人員の抑制 【少数精鋭化】
- 直間比率の見直し
【直接部門(製造原価)と間接部門(販管費)との比率 改善】
- 開発要員の充実

従業員推移(連結)

